別記
第３号様式

京都府教育委員会教育長　様

コミュニティ名　Tango 外国語教育を学ぶ会
代表者所属名　京丹後市立島津小学校
代表者職・氏名　長砂　健　㊞

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

１コミュニティ名	Tango 外国語教育を学ぶ会
２研究テーマ	小中の接続を意識した外国語教育の指導と評価の一体化
３研究の目的	学習指導要領の改訂により、小学校においては、高学年の外国語活動が今年度より教科として扱われ、教科書を使用した授業展開の工夫を模索していく必要がある。また、中学校においても小学校と同じ３つの観点及び「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められることから、京丹後市立網野中学校及び同中学校区内の４つの小学校における外国語教育の指導の連携、また「次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業」の指定を受けた市内の学校との連携を図り、授業改善を行い、指導力の向上を図る。
４研究の成果と課題	○研究授業に向け、授業づくりの段階から一緒に考え、その上で参観することにより、授業を自分に引き寄せて参観したり振り返ったりすることができた。 ○他教科と同様、教科書を学ぶのではなく、教科書で学ぶという視点が明確になり、付けたい力に焦点を当て、教科書を活用すればよいことを共有できた。 ○コミュニティをきっかけに電話等で連絡を取り合い、指導についての相談できた。 ○他校と様子を交流することで、多面的な見方や考え方が広がったり、先行授業の感想を得たりすることができ、学びを深めることができた。 ○センター出前講座を活用し、研究の方向性をより確かなものにすること

	ができた。 ○他校の指導を参観することができ、様々な形での指導について議論することができた。また、中学校や高等学校の指導を参観し、小学校段階でどの程度の到達度を目指すべきかをより意識することができた。 ◍中学校区内の小学校で指導を統一するまでには至らなかった。 ●評価については、評価場面や規準など一定の共通理解を図ることはできたが、さらに検討していく余地がある。
５研究成果の波及方法	コミュニティ参加者が所属する学校で実践の継続を行う。また、来年度は今年度の成果・課題をもとに授業研究会を行い、外部へ発信したいと考える。

６研究（活動）実績	年月	研究（活動）内容（具体的に記載してください。）	活動場所
	R２・６	◆研究の方向性の確認	島津小学校
		◆校内授業研究会（６年） 実施	
	10	◆校内授業研究会（５年） 実施 センター出前講座を活用し、指導主事を招いての指導と評価の方法研修	島津小学校
	11	◆福井県の先進校視察 変更 ➡「次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業」の指定を受けた学校の授業参観 ①R2.10.19 ②R2.11.30	①峰山高等学校 ②峰山中学校
	R３・２	◆「次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業」の指定を受けた市内の学校の授業参観 実施	しんざん小学校
	3	◆校内授業研究会（外部へも案内） 変更 ➡R2.12.14に実施 ◆新教科書を使った指導と評価の一体化に関した授業づくりの研修を月１回程度行う。→毎月	島津小学校

		２週目の木曜日【７月９日、９月 10 日、10 月８日、11 月 12 日、３月４日（予定）】　実施	

※　紙面が不足する場合は、適宜行を追加し記入してください。